

平成30年度 富島高等学校（定時制） 学校評価

教育目標 宮崎県教育基本方針および宮崎県人権教育方針に基づき、己の個性を伸ばす自立の心を育て、信頼と協調により友愛を深め、心豊かな生活をめざして創造力を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。						〔学校関係者評価のポイント〕 ・自己評価の項目や指標は適切に設定されているか。 ・自己評価の結果は、指標等をもとにした妥当なものであるか。 ・自己評価の結果を踏まえた成果と改善策は適切であるか。	
本年度の重点目標 「生きる力」を育むことを基本として (1) 「頭」を鍛え、伸ばす（学力の向上と進路の実現） (2) 「心」を鍛え、育てる（心の教育の推進と充実） (3) 「体」を鍛え、伸ばす（体の育成と部活動の活性化）							
重点目標	評価項目	具体的方策又は具体的指標	自己評価	成果及び改善策	学校関係者評価	評価・具体的意見	
(1) 「頭」を鍛え、伸ばす	授業力の向上	校内外研修への積極的な参加や授業公開を通して、授業力の向上を図る。	A	業改革推進リーダー研修に参加した。10月に授業公開週間を実施し、授業研修を行った。「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業を行い、授業力向上を図った。	A	指導力向上の努力が窺える。	
	ビジネス教育の推進	資格取得を通して、専門教育の深化を図るとともに、実務代替制度を推奨し、企業の求める人材になれるビジネス教育の推進を図る。	B	実務代替を申請し、就労が継続している生徒に関しては、事業所からの評価も、レポートの提出状況も良好である。ビジネスマナーに関しては、徐々に定着しつつある。	B		
	資格取得の推進	専門科目を通して、資格取得が進路実現に繋がることを認識させ、積極的に検定試験を受験するように働きかける。	B	上位級の合格者が増加、また1・2年の受験者数が増加したため、全体的に合格者数が増えた。全商3種目合格者が出た。	B		
	キャリア教育の推進	生徒の就労率を上げ、職業観・勤労観を育む教育に取り組む。卒業後の進路目標設定を促し、課題を自ら解決する能力の育成に努める。	B	高学年の就労者が増え、仕事と学業の両立に努力が見られる。卒業後の目標設定に甘さが見られるが、最後まで未決定者に指導していく。	B		
	学力の向上	一人一人の生徒の実態に応じたきめ細やかな指導を通して、授業への出席率や学習意欲を高め、基礎学力の定着を図る。 ・基礎学力養成プリントの実施 ・出席率90%を目指す	B	SHR時の基礎学力養成プリント(国・数・英・新聞記事)を毎日実施した。商業科目で少人数指導を実施した。出席率90.3%(11月末)	B	出席率の目標達成は大いに評価できる。	
(2) 「心」を鍛え、育てる	基本的生活習慣の確立	基本的生活習慣（時間厳守・挨拶の徹底など）の確立を図り、自立心・忍耐力の育成に努める。	B	教師による常時指導により、多くの生徒は基本的生活習慣の確立ができている。一部生徒については継続して指導を行う。	B	先生方の苦勞がよく伝わる。	
	命を大切にする教育の推進	学校行事やホームルーム活動、日々の授業を通して、自他の生命を尊重する態度を育てる。	B	教育講話等の機会を通じて自他の生命を尊重する態度が醸成できている。講話で得た知識を日常生活に生かす指導を行う。	B		
	危機回避能力の育成	平時より通学途中や災害時に潜む危険について理解し、緊急時に適切な対応を取れるようにする。	B	避難訓練や交通安全教室の機会を通じて緊急時に適切な対応を行う能力を高めることができおり、今後も継続指導を行う。	B		
	スクーリーダーの育成	生徒会活動・委員会活動や部活動・特別活動やホームルーム活動等を通して、スクーリーダーを育成し、協調性・責任感の育成に努める。	B	生徒会行事を執行部中心で運営させることで集団を動かす力を育て。生徒に行事運営を行わせる機会を持たせ、責任感を育てる	B		
	豊かな心の育成	読書や花壇づくり、陶芸教室などの体験活動を通して豊かな心の育成に努める。	B	花壇作りや陶芸教室等の活動により生徒の心の育成の一翼を担うことができた。	B		
	特別支援教育体制の充実	個別面談等を計画的に実施し、生徒理解に努めるとともに、ハートサポーターの有効活用、関係機関との連携を推進し、特別支援教育体制の充実を図る。	B	年度当初に全生徒を対象にハートサポーターとの面談を実施した。また、担任と協力し、個別に必要な関係機関と連携した支援を行った。	B		
(3) 「体」を鍛え、伸ばす	健康教育・安全管理の充実	交通教室や薬物乱用防止教室を通して、健康教育や安全管理の充実を図る。避難訓練や救急法講習会等を実施し、危機管理や防災対策に取り組み、生徒・職員の安全保持を図る。	B	各種行事を通して得た知識を実生活の安全に繋げられるように日々の指導を行った。	B	健康教育に力を入れているのが分かる。	
	リーダーの育成	体育授業や部活動・特別活動を通して、リーダーを育成し、円滑な人間関係を醸成するとともに、リーダーを育成する。	B	中心となる生徒のリーダーシップにより生徒全体の積極的な体育的活動の取り組みができている。	B	スポーツを通しての人間性の構築に期待する。	
	生涯にわたる健康の保持増進のための教育	総合学習や保健体育の授業、部活動・特別活動、健康教室を通して生涯にわたる心身の健康保持について意識を高めるとともに、生徒の体力向上に努める。	B	学校活動のあらゆる場面で生徒が互いにコミュニケーションを取ることで、豊かな人間関係を育成している。	B		

※ A：十分達成 B：概ね達成 C：検討の余地あり D：不十分